

2016.4 → 2017.1

# ハナスバ 2016

## キーワードは『境界』 キョウカイ

境界とは物事のさかい目。

「肩書きではなくその人個人に触れるとき、  
本来には「つながって」いくのかもしれない、  
今年の十月に行った「あーと×ふくしトーク  
カフェ ハナスバ」のチラシに書いた言葉。

分野や立場が違って、同じ興味のある  
人同士が「対話」を通して有機的につながれ  
ば新たなアクションが自然と生まれるかも  
しれない。

人同士がその専門と専門の「境界」を越え  
ることで、まだ出会ったことのない新たな  
価値を獲得できるかもしれない。

私たちは、そんな淡い期待を込め昨年「ハナ  
スバ」を開催した。

「ハナスバ」をきっかけに新たな「つながり」  
が生まれ、アクションが起き、確かな手ごたえ  
を感じた。一気に大きなことはできないが、少  
しずつ着実にやっつけていこう。その人個人が素  
で出逢える場をつくること。きっとその先に  
社会を変革する力があると信じて。

『境界』はあるのかなのか。

2016年、『境界』を『越える』ことを改め  
て考えたい。

## アート作品のわかる・わからないの境界について ～対話から始まる アートとの出会いなおし～

8.29 (月) 19:00-

岡崎大輔・川那辺香乃 (Listen, and...)  
縫原弘子 (コンテンポラリーダンサー)

## 表現すること、生きること。

～伝えたいと思う時って、どんな時、どんな場?～

10.22 (土) 18:00-

上田假奈代 (詩人・詩業家)

■会場 / 福井 北ノ庄クラシックス

■参加費 / 1,500円(1ドリンク付き)

※お申し込み・お問い合わせは裏面に記載

## ハナスバとは?

福井芸術・文化フォーラムが「福井で障害のある人の表現活動をより豊かにするには」というテーマで2015年10月に開催したトークイベント。2016年は4月から隔月で開催。話し手が主に話す「場」と、会場に集まった人が自由に交流し話す「場」の二部構成。県内外の表現者やプロデューサー等の「話し手」を招いて、アートと福祉、アートと観光など、アートは境界や分野を越えて社会を切り拓く可能性があるということを考え、個人と個人の自由な対話により新たなアクションが生まれるきっかけ作りを目指す。



左) ハナスバ2016[4月] 脳熱(のうちゅん)な感じ誰か一緒に体験しない??

右) ハナスバ2016[6月] 観光とアートの有機的な関係とは?